

特徴： 飼料米を活用した鶏卵の生産

畜種等	採卵鶏
県・市町村名	福岡県築上町
取組実施者名	城井ふる里村有限会社
経営形態	採卵鶏経営
飼養頭羽数	採卵鶏 30,000羽、育成鶏 7,000羽
取組開始年	平成20年



養鶏場全景



飼料米配合飼料給餌風景

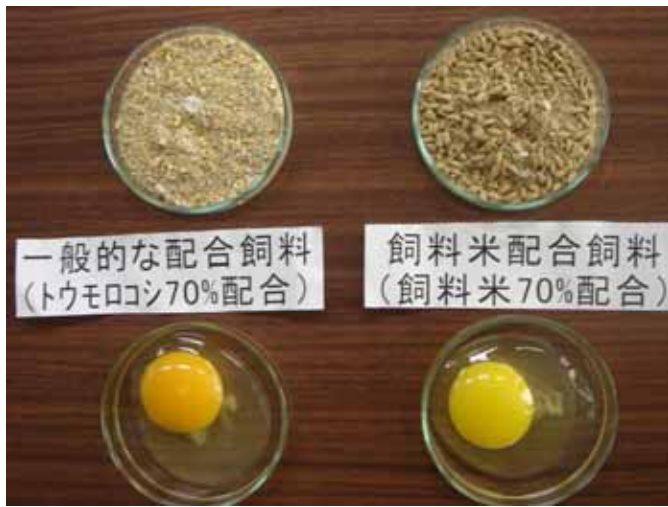
経営の概要

- ・大正11年より門司で500羽の採卵養鶏を開始した。現在の社長は3代目で、昭和46年に就農した後、昭和48年に現地に養鶏場を移転した。平成15年に鶏肉加工施設及び直売所を併設し、城井ふる里村有限会社を設立。
- ・国産銘柄鶏を飼養し、飼料は自家配合飼料を給与している。
- ・直売所では、自社鶏卵を使用したシュークリームやロールケーキ等の販売とともに、鶏卵肉や鶏肉加工品の販売も行っている。

生産性向上の取組の概要

- ・消費者に安全・安心な鶏卵を提供することを目的に、非遺伝子組み換えPHFトウモロコシを飼料原料として利用してきた。
- ・生産量の減少や価格の高騰により飼料原料の安定的な入手が困難となったため、地元産の米を利用して地産地消に取り組みとともに低コスト化を図る。
- ・飼料米は、地元築上町で2.4ha試験栽培されている多収性品種を利用する他、近隣町の耕種農家にも飼料米の生産を0.4ha依頼し利用している。
- ・平成20年度は、28tの飼料米を確保。

直売所での「米たまご」販売風景



取組の実績・効果

【取組実績】

- ・飼料米生産農家から30円/kgで購入。
- ・飼料米は朮の状態で配合し給与。
- ・トウモロコシを飼料米に100%代替した飼料を試験的に作り、1,000羽の鶏に給与。
- ・卵黄色を確保するために、緑餌を飼料に添加している。

【取組の効果】

- ・飼料費(平成20年9月現在)

トウモロコシ70%配合飼料 61円/kg

↓ 2.4円/日/羽の低減(120g/日/羽 給与)

飼料米70%配合飼料 41円/kg

- ・飼料原料の国産比率上昇

- ・販売価格

普通卵 25円/個

米たまご 50円/個

米たまごの価格は地産地消による差別化に加え、将来飼料米の購入単価の引き上げを考慮し設定。

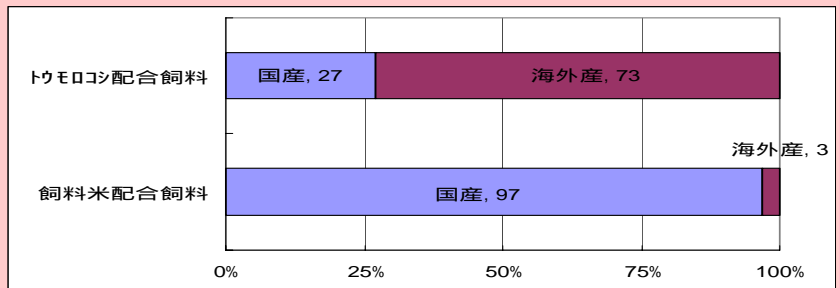


図1 飼料原料の国産・海外産比率

取組実施者からのコメント

穀物価格の高騰が、トウモロコシから飼料米への配合原料シフトのきっかけとなったが、地産地消という鶏卵の差別化を行うことができた。

将来的には、飼料米ほ場に鶏ふんを投入し循環型農業を行うとともに、飼料米購入単価を100円/kgまで引き上げ、補助金に頼らない飼料米生産を支援し、地域の活性化を担いたい。



徳永隆康氏

事例提供：福岡県築上地域農業改良普及センター園芸畜産課果樹花き畜産係 月野友和

お問合せ：福岡県築上地域農業改良普及センター TEL 0979-82-1201